資料３

# 令和６年度第１回高松市健康づくり推進懇談会　事前に提出いただいた御意見等回答一覧

| No. | 資料１ページ | 御意見等 | 回答 | 主管課名 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 調査の回収結果において、回収数が1000人余りの年齢構成が後の分析に響いているかと思われるので、年齢構成か年代実数があればもっとよいかと思いました。 | 詳細な調査結果については、本市ホームページに掲載していますが、「次期高松市健康都市推進ビジョン（第３次）の骨子案」の資料としては、省略しています。<br>なお、令和5年度 高松市民の健康づくりに関する調査の回答者1,050人の内訳については、下記のとおりで、高齢者が多くなっています。<br>・18-29歳：35人（3.3%）<br>・30-39歳：100人（9.5%）<br>・40-49歳：121人（11.5%）<br>・50-59歳：152人（14.5%）<br>・60-69歳：168人（16.0%）<br>・70-79歳：263人（25.0%）<br>・80歳以上：211人（20.1%） | 保健医療政策課 |
| 2 | 2 | 調査対象者は、住民基本台帳を基に、令和５年５月１日現在、１８歳以上の市民からとしているが、４分野別評価（１）生活習慣の改善の評価にて、中学生、小学生、幼児の評価が明記されているが、調査対象が１８歳以上となっているのに、どの様にして中学生～幼児の評価をしたのか。無作為抽出した１８歳以上でなく、別にアンケートなどで調査したのか？ | 最終評価については、「高松市民の健康づくりに関する調査」のほか、各種統計データや事業の実績データを基に、評価しています。<br>（例）「朝食欠食者の減少」の評価<br>・男性（20～39歳）：高松市民の健康づくりに関する調査<br>・幼児（1歳6か月、3歳児）：高松市幼児食生活調査<br>・小、中学生：「早寝早起き朝ごはん」生活リズムチェックシートによる調査 | 保健医療政策課 |
| 3 | 4 | 生活習慣の改善について<br>知らず知らずのうちに健康になる環境整備、意識しなくて自然に健康になれる環境づくりとありますが、現実意識していてもなかなか実践できていない内容なのでより個人の生活に食い込むような刷り込みが必要だと思います。 | 生活習慣の改善としては、自ら健康づくりに積極的に取り組む人だけでなく、健康に関心の薄い人を含む幅広い層に対してアプローチを行うことが重要になってきています。<br>そのためには「自然に健康な行動を取ることができるような環境整備を行うこと」が求められており、今後、他関係団体や事業者等と連携を更に進め、個人の食生活や運動習慣の改善につながる取組を検討してまいります。 | 健康づくり推進課 |

# 令和６年度第１回高松市健康づくり推進懇談会　事前に提出いただいた御意見等回答一覧

| No. | 資料１ページ | 御意見等 | 回答 | 主管課名 |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 4 | 朝食欠食者が少しずつ減少している結果を拝見しました。しかし、年齢層によっては朝食欠食者が微増していることもわかりました。<br>朝食のメリット、朝食抜きのデメリットを伝えることは重要なことだと思いますが、周知方法など工夫されていることがありましたら、教えてください。 | （健康づくり推進課）<br>幼児は保護者の食生活の影響を大きく受けますので、フードスタート運動事業において、保護者自身も一緒に朝食を取るよう周知啓発をしています。<br>また、高松市幼児食生活調査を実施し、朝ごはんを毎日食べない理由へのお助けアイデアや簡単レシピを紹介するなどし、より実践に結びつけられるような周知啓発を進めています。<br><br>（生涯学習課）<br>朝食欠食者が微増している中学生を含む、市立の全小中学校の児童生徒を対象に、毎年５月上旬に、生活習慣に関する目標の達成度を測るための「生活リズムチェックシート」を配布し、子どもが家族と相談しながら、生活習慣を見つめ直すきっかけを提供しており、適度な運動を始め、規則正しい睡眠や食事の摂取が、免疫力の向上や疲労回復、体の成長に重要であることを、イラストを交え、理解されるよう工夫しています。<br>併せて、就学時健康診断等で配布している啓発チラシでは、短時間で簡単に作れる朝食レシピの紹介に加え、朝食の摂取が学力向上に良い影響を与えることをデータで示すなど、朝食摂取の動機付けとなるよう工夫しています。 | 健康づくり推進課<br>生涯学習課 |
| 5 | ４ ② | 関係団体との連携という言葉を入れる。<br>「意識していなくても自然に健康になれる環境づくりの推進について」は、意識しないと健康になれないので反対。再考ください。 | ４ページ②「身体活動・運動」につきましては、「高松市健康都市推進ビジョン最終評価書（暫定版）」から、評価内容を抜粋したものです。<br>「関係団体との連携」の文言につきましては、今後、具体的な計画内容を検討する段階で、取組の方向性等に記載することを検討してまいります。<br>また、「意識していなくても自然に健康になれる環境づくりの推進について」は、国の「健康日本21(第３次)」において、新たな視点として、健康に関心の薄い人を含め、本人が無理なく健康な行動をとれるような環境づくりを推進していく方針を示しており、県の「健やか香川２１ヘルスプラン（第３次）」も同様の趣旨を盛り込んで策定しています。<br>健康増進法において、国の方針及び県の計画を勘案して策定することとしている市町村計画のため、本市としても「自然に健康になれる環境づくり」を、計画に盛り込む予定です。 | 保健医療政策課 |

# 令和６年度第１回高松市健康づくり推進懇談会　事前に提出いただいた御意見等回答一覧

| No. | 資料１ページ | 御意見等 | 回答 | 主管課名 |
|---|---|---|---|---|
| 6 | 5 | ③こころの健康・休養<br>「高松市健康都市推進ビジョン 最終評価報告書」以下「推進ビジョン」と言う。Ｐ.63 ①こころの健康について学ぶ人の割合の増加で、評価Ａとなっていますが、「第２期高松市自殺対策計画」のＰ.7第２章 高松市の自殺の現状 によれば平成２３年をピークに２００人以上で推移していましたが、令和４年は１５９人と減少傾向にありますが、更なる減少を図るため「ゲートキーパ」認知度の向上と、活動が重要と思います。因みに、高松市の「ゲートキーパー」の登録者の推移および配置についてお知らせください。 | 「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、声をかけてあげられる人のことで、特別な研修や資格は必要ありません。このため、「ゲートキーパー」の数等は把握できませんが、市民誰もが身近な人の自殺の危険を示すサインに気づけるよう、「ゲートキーパー」の周知・啓発に努めております。<br>具体的には、「市政出前ふれあいトーク」のテーマや各地区保健委員会活動の健康教育として、こころの健康についての内容を盛り込み、「ゲートキーパー」の周知・啓発に取り組むほか、令和３年度に作成した、ゲートキーパー周知啓発用動画（YouTube）も、本市ホームページに掲載しております。 | 健康づくり推進課 |
| 7 | 8 | （３）ライフステージに応じた健康づくりの推進<br>①次世代の健康　子どもの生活習慣<br>「推進ビジョン」P.100によれば、⑦朝食欠食者の減少についての評価が1～3と低評価にあります。「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な行動の再認識を促がす必要を強調したいと思います。朝食をしっかり取ることは食生活の基本であり、健康維持のための絶対条件です。朝食の欠食はメタボにも起因するとも言われています。 | （健康づくり推進課）<br>朝食を毎日食べることは、栄養バランスに配慮した食生活や基本的な生活習慣を身に付ける観点等から非常に重要であります。<br>そのため、保護者の影響を大きく受ける幼児の食習慣については、保護者も含めた朝食欠食者の減少に努めるとともに、次世代に食育をつなぐ大切な担い手である高校生や大学生などの若い世代にも朝食を食べることの大切さ等について周知啓発を推進してまいります。<br><br>（生涯学習課）<br>市立の全小中学校の児童生徒を対象として、毎年５月上旬に、生活習慣に関する目標の達成度を測るため配布している「生活リズムチェックシート」の中に、「早寝早起き朝ごはん」運動についての内容も盛り込み、その重要性の啓発に取り組んでいます。<br>令和６年度からは、チェックシートのデザインを一新し、朝食の摂取や睡眠の重要性などを、イラストやデータを用いて、分かりやすく周知啓発しています。<br>現状で、１割から２割程度の小中学生が朝食を欠食していますが、引き続き、生活習慣の改善につながる周知啓発に取り組むとともに、個別の児童生徒の状況に合わせて対応してまいります。 | 健康づくり推進課<br>生涯学習課 |
| 8 | ８，９ | ライフステージに応じた健康づくりの推進<br>次世代の健康、青壮年期の健康については検診率を上げるためにも高齢者だけでなくすべての年齢層で自己負担を無料にした方がよいと思います。 | 本市で実施してしている健診（検診）については、1歳6か月児健診・3歳児健診や、青壮年期の特定健康診査等は基本的に無料で受診いただいておりますが、がん検診等は一部年齢の方等を除いて受診料を負担いただいております。<br>御意見にあります、すべての年齢での自己負担無料は、財源の問題等もあり、困難ではございますが、受診環境の向上や健診（検診）の重要性の周知・啓発等により受診率の向上に努めてまいります。 | 健康づくり推進課 |

# 令和６年度第１回高松市健康づくり推進懇談会　事前に提出いただいた御意見等回答一覧

| No. | 資料１ページ | 御意見等 | 回答 | 主管課名 |
|---|---|---|---|---|
| 9 | 10 | 評価記載のとおり「誰一人取り残さない健康づくり」を推進するためには産官学を含めた様々な担い手の連携が重要で、行政がイニシアチブを取ることで各職能団体や協会等も動きやすいと考えます。 | 人生100年時代を迎え、社会が多様化する中で、個人の健康課題も多様化しており、誰一人取り残さない健康づくりの推進が重要になってくると考えています。<br>本市としても、産官学を含めた様々な担い手の有機的な連携を促進し、多様な主体による健康づくりなどを展開してまいります。 | 保健医療政策課 |
| 10 | 12,17 | ・12ページの「課題3,4」から方向性「社会環境～」「ライフコースアプローチ～」<br>・17ページの「現行計画」から「次期計画」3→3、4→2<br>上の2つの図において、矢印がクロスしているのは、どうしてか。『それぞれの図において重要なことが12ページでは左側に、17ページでは上に書かれている』と理解すればよいのでしょうか。 | 12ページ下段の方向性及び17ページ右側の基本方策につきましては、国の「健康日本21(第3次)」及び香川県の「健やか香川21ヘルスプラン(第3次)」を踏まえたものとしており、体系の順序は、国及び県と同一としています。 | 保健医療政策課 |
| 11 | 17 | 次期計画において、3ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの中で、⑴～⑶の並びの中で、子どもと女性の健康は関連が強くなるように思われますが、その点何か考えられている事がありましたら、ご教授いただければ幸いです。 | ライフコースアプローチは、胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的にとらえた健康づくりであり、次期計画では、「女性の健康」を明記する予定です。特に、女性の健康は、胎児や子どもの健康にも影響を及ぼすことから、女性と子どもの視点から、より実効性のある取組を展開してまいります。 | 保健医療政策課 |
| 12 | 全体 | これらの資料については、外部委託でしょうか。関係部局・課の内部での作成でしょうか。 | 資料１の「次期高松市健康都市推進ビジョン（第３次）の骨子案」は、関係課の意見を踏まえ、保健医療政策課で作成し、参考資料の「高松市健康都市推進ビジョン最終評価書（暫定版）」は、香川大学に委託し、本市と共同で作成しています。<br>なお、次期計画策定支援等の業務を、香川大学に委託しており、資料の作成に当たっては、香川大学医学部人間社会環境医学講座公衆衛生学の平尾委員から、助言・指導をいただいております。 | 保健医療政策課 |
| 13 | その他 | 香川県は先ほど、「がん検診の受診率向上」のため、生命保険会社や金融機関など企業１２社の従業員らを「がん検診推進サポーター」として認定し、去る６月２６日県庁ホールで研修会を開催し、約３３０人が参加しました。<br>高松市も銀行と提携し銀行の取引先へ健康診断の受診の促進を委託すると発表しています。<br>大変良いことです。大いに期待したいと思います。 | がんは、早期のうちに発見できれば、治せる可能性が高くなるため、本市においても積極的にがん検診の受診率向上に努めているところです。<br>御意見にもありますように、香川県においても「がん検診推進サポーター」の認定などを実施しておりますので、今後においても、県とも連携しながら受診率向上に努めてまいります。 | 健康づくり推進課 |